

伝統を創る

二十八年度転入の先生方

- ① 前任校 ② 趣味・特技
- ③ 甲南生に一言



校長 原之園哲哉

- ① 県教育庁教育次長
- ② 見知らぬ野山や町の散策
- ③ 落ちるリングを待つな！



教頭 川上 隆博

- ① 県教育庁高校教育課
- ② 城巡り・剣道
- ③ 百年の歴史をもち、進取の気風溢れる甲南高校に勤務できることを誇りに思っています。可能性を秘めた高校三年間です。目標は高く、努力はひたむきに取組んでください。英語の質問も大歓迎です！



国語 猪八重 寛

- ① 出水高校
- ② 読書・旅行
- ③ 普通科の進学校として名高い甲南高校で教鞭をとることができ、大変光栄に思います。少しでもみなさん

の教養の裾野が広がり、より高い人生の山を築くことができるように、お手伝いしたいと考えています。よろしくお願ひします。



地歴・公民 山之内敏喜

- ① 国分高校
- ② 囲碁・文学・冗句・旅
- ③ どんな些細なことでも、良き事を思い、善き事を実行すること。人生は短い。よく学び、楽しく「青春」を過ごしてください。



数学 福永 公樹

- ① 川辺高校
- ② ドライブ、家庭菜園
- ③ 伝統ある甲南高校に赴任して、大変嬉しく思います。今全力で努力しないと必ず後悔する時が来ます。皆さんの持つ素晴らしい才能を、この高校三年間で最大限発揮してみませんか。共に全力で頑張りましょう。



数学 松元 大介

- ① 屋久島高校
- ② バドミントン

③ 先日の甲鶴戦では生徒の皆さんがそれぞれの立場で主体的に活動している姿に感激しました。そのような歴史と伝統のある学校に勤務できることをうれしく思います。一緒に成長していきましょう。



英語 山下 良子

- ① 岐阜県立可児高校
- ② 海外テレビドラマ鑑賞(英語で) 日本のテレビは一切見ません。
- ③ 3年間の岐阜県との交流から鹿児島に戻りました。「もう一度、この人生を繰り返してもかまわない、という人生を生きたい(ニーチエ)」この言葉のような人生を甲南高校で目指します。110周年を迎える甲南高校とともに学べることも楽しみにしています。



英語 鶴園 りえ

- ① 大口高校
- ② 温泉・美味しいもの巡り
- ③ 勉強・部活動共に真剣に取り組む、パワーに溢れた甲南高校のみなさんと共に学べることを大変嬉しく思います。みなさんと共に勉強、努力し、共に成長していきたく思います。よろしくお願ひします。



理科(地学) 成尾 英仁

- ① 武岡台高校
- ② 山歩き・自然観察
- ③ 学校が改築中で教室への移動が大変ですが、足腰が鍛えられます。

高校時代は物事を柔軟に考えられる時代です。本を読んで、囚われることなく多面的に考える力を身につけてほしいものです。世界は広いです。鹿児島から世界を見ることができ、思考力をつけてください。共に学びましょう。



理科(生物) 野間口 元

- ① 大島高校
- ② 旅行・熱帯魚飼育
- ③ 多くの生徒が礼儀正しく、何事にも真剣に取り組む姿をみて、さすが甲南生だと感動するとともに身が引き締まる思いがしました。皆さんの成長に少しでも役立てたらと思います。よろしくお願ひします。



理科(物理) 梨本 陽司

- ① 岐阜県立山県高等学校
- ② テニス・オレンジ色のものを集めること
- ③ 何も分らない土地で不安にしている私に多くの方々が親切にしてください。鹿児島は素敵な所です。その鹿児島を代表する甲南高校に赴任できたことを嬉しく思います。これからよろしくお願ひします。

と楽しく学べればと思います。思わず応援したくなるような「愛される甲南生」を目指して生まれ変わる校舎同様、新たな伝統を共に築いていきましょう。よろしくお願ひします。



理科(化学) 前田 彰洋

- ① 川内高校
- ② 物を買って満足すること
- ③ 授業中の集中力と放課後、部活動に励む姿を見て、心を赤々と燃やして青春している甲南生の姿を感じています。そのエネルギーに負けないように日々精進していきたく思います。



情報 上村 大樹

- ① 準人工業高校
- ② ドライブ・バスケット
- ③ 甲南高校で何かひとつ極めてみてください。きっとそれがあなたの今後、大きな武器になるでしょう。日々の努力を忘れず、一緒に成長していきましょう。よろしくお願ひします。



体育 肥後 勇介

- ① 日本体育大学
- ② スポーツ観戦・温泉
- ③ 保健体育を通して皆さん



養護 渡辺 照代

- ① 鹿屋高校
- ② 映画鑑賞・スポーツ観戦
- ③ いろんな事を考え、悩み、乗り越えていく三年間だと思います。



山下 養護

- ① 第一多中学校
- ② 温泉
- ③ 甲鶴戦では、全校生徒で一丸となり、真剣な眼差しでプレーする姿や必死に応援する皆さんの姿に感動しました。甲南生が心も体も健康で過ごせるよう、皆さんとともに精進していきたく思います。よろしくお願ひします。

勇姿煌々

第四十六回甲南・鶴丸スポーツ交歓会

今年の甲鶴戦における甲南生の気合い(および職員へのプレッシャー)はひと味違った。今年は甲南高校創立110周年。そして前人未踏の五連覇がかかってきたからある。吹奏楽部との綿密な打ち合わせ。「朝の全員集合から勝負は始まっている」と作戦を立てる生徒会役員。五連覇に貢献するべく毎日練習を重ねる部活動生。全員の合言葉は「絶対に負けられない戦いが鴨池にある！」

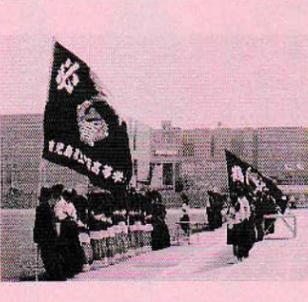
四月十五日午前八時、甲南生と鶴丸生の思いが通じたような恵まれた天候の下、ついに始まった第四十六回甲鶴戦。開会式では前日に熊本で起きた地震について校長先生が触れ、日常を生きていることのありがたさや甲鶴戦が46年間続いているという伝統の素晴らしさを実感した。

の大役を担ったのはサッカー部だ。瑞々しい色をした芝生の上でボールを追いかけて、惜敗し悔し涙を流す姿を見て、彼らの分も取り戻そうと心をひとつにした甲南生。各会場で熱戦を繰り広げ、負け知らずの水泳部や圧倒的な強さをみせる体育館での競技、昨年惜敗したラグビー部などが素晴らしい見事な勝利を取った。

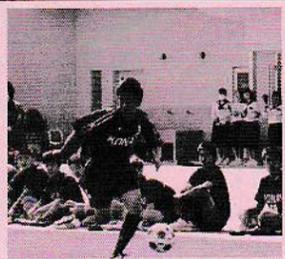


五連覇を確信した甲南生が最後に集うのは野球場。点を取られたら取り返し、点を取ったら取り返される好ゲームに、応援練習では先輩方の勢いに押されていた一年生も声を張り上げた。走者が塁に出ると「甲南! 甲南!」と飛んだ。部活も学年も年齢も関係なく、その場にいた甲南関係者全員が声を枯らして応援した。心がひとつになった瞬間だった。

12対5の大差で五連覇を果たすことができた甲南生。最後に全員で肩を組み、校歌を声高らかに歌う表情は全員が誇らしげで顔を真っ赤にした部活動生たち



も、ずっと楽器を吹き続けていた吹奏楽部も、ずっと声を出し続けていた応援団も、すべての競技で進行を務めた放送部も、12月から話し合いを重ねた生徒会役員も、この瞬間をずっと待っていた。きつと生涯忘れ得ぬ感動であつたらう。



種目	得点	
	甲南	鶴丸
ラグビー	24	19
陸上競技	50	41
サッカー	0	3
ハンドボール	20	16
男子バスケット	97	70
女子バスケット	54	34
男子バレー	2	0
女子バレー	2	0
卓球	6	3
バドミントン	8	7
水泳	123	95
テニス	2	3
ソフトテニス	9	1
剣道	0	7
弓道	82	95
空手	5	3
野球	3	6
総合	12種目	5種目

卒業生の大学合格状況について

今年のセンター試験は、全教科新教育課程に対応した初年度入試！
平均点は文系で+7点、理系で-6点。文高理低の志望動向での戦いとなった。

今年の大学入試センター試験は1月16・17日の2日間にわたり、全国693の試験場で実施された。志願者数、受験者数とも前年比99・2%といずれも前年から大きな変化はなく、総志願者数は563,768人であった。志願者数の現卒別の内訳をみると、現役生82・0%、既卒生17・1%となっており、昨年度からすると、既卒生が全国で2、200人程度減少した入試であった。

教科別に分析すると、「国語」、「数学II B」、「日本史 B」、「生物」の平均点は昨年よりアップし、「数学I A」、「英語」、「化学」はダウンした。その結果、5教科総合での得点は、それぞれの教科での平均点の上昇分と下降分が相殺され例年並みの結果となった。系別に見ると、文系で前年差7点増、理系で前年差6点減となった。(データネット集計による)

そのような状況下であったが、本校卒業生は今年度も大健闘を見せた。国公立

平成28年度大学入試合格状況

国公立大学	新卒			既卒			計		
	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計	新卒	既卒	計
茨城大学	1		1						
筑波大学	1		1						
東京農工大学	1		1						
東京外国語大学		1	1						
お茶の水女子大学	2		2						
東京海洋大学	1		1						
東京工業大学	2		2						
東京芸芸大学	3	1	4						
横浜国立大学	2	2	4						
京都府立大学	2	1	3						
京大	3	2	5						
神戸大学	2	1	3						
広島大学	18	4	22						
九州工業大学	14	8	22						
九州大学	5	3	8						
熊本大学	29	9	38						
鹿児島大学	87	13	100						
その他	47	6	53						
小計	218	51	269						

さて、新3年生の大学入試センター試験は全教科が新教育課程からの出題となる試験の2年目となる。今年度の傾向を踏まえ、各教科で対策を考えていくこととなる。東京大学の推薦入試を初め大学の入試制度も大きく変わろうとしている。各大学の入試要項等も注視し、万全を期す予定である。

大学合格者は269名(うち現役合格者は218名)を数え、特に現役生の合格率は卒業生総数に対し71・4%を記録した。また、難関大合格者においても、京都大学1名(既卒1名)、東京工業大学2名(現役2名)、大阪大学5名(現役3名)、名古屋大学1名(現役1名)、神戸大学3名(現役2名)、九州大学22名(現役14名)、国立大医学部医学科に4名(現役1名)と健闘した。国公立大学の現役合格者が200名の大台を突破したのは2年連続となった。